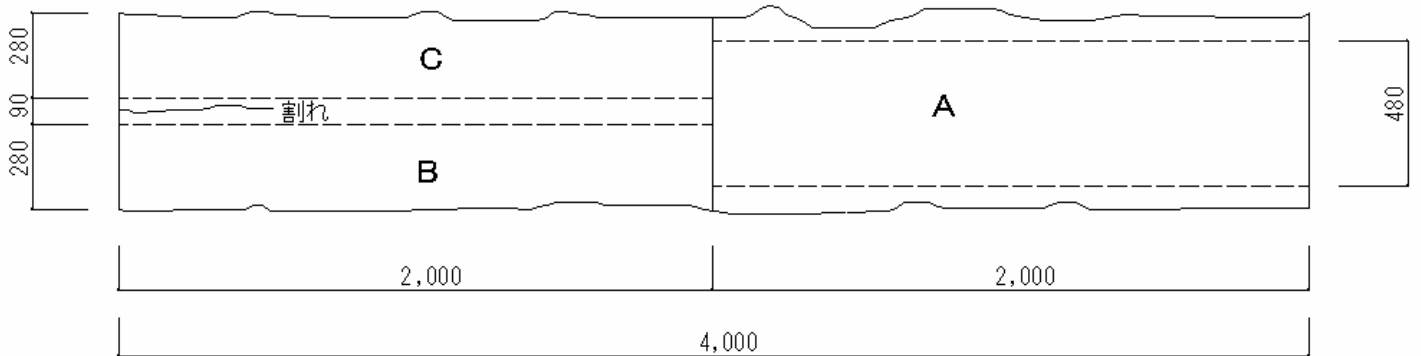


桧無垢ダイニングテーブルの製作について

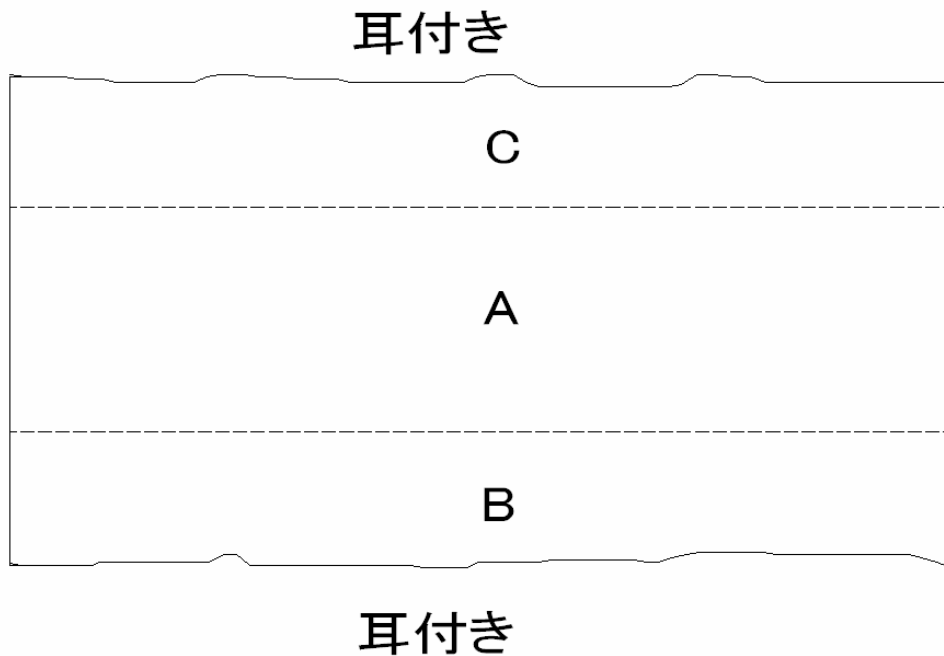
神奈川県大和市の山下建設様様の依頼で藤沢市のF邸のダイニングテーブルを桧材で製作することになりました。

そこで、弊社の在庫品中で乾燥具合良く割れの少ない桧節板 4000*650*t65 を探し出して希望の天板サイズ W1750 * D950 * t45 に仕上がるように木取りを下図のように致しました。

桧原板 4000*650*T65



破線はカットラインで、剥ぎ合わせると下図のような板となります。





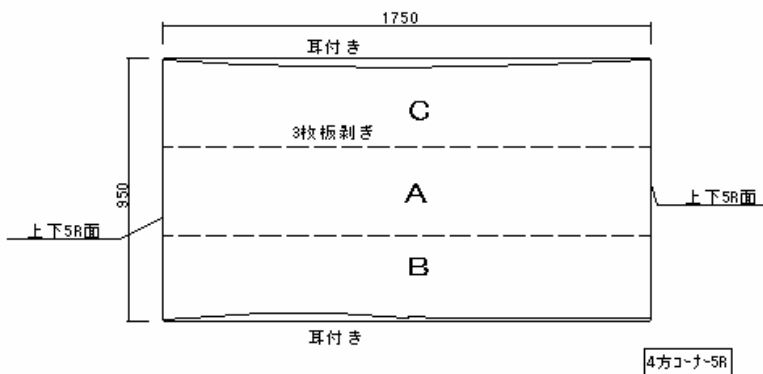
このように木取りを行い、板厚を
超仕上げ等で揃えて剥ぎ加工して
1枚板に仕上げていきます。

(今回の剥ぎ加工はヤトイとしました。)
そして1枚になった板はワイドサンダーで
天板として仕上げていきます。
さらに、両耳をサンダーで洗い出します。

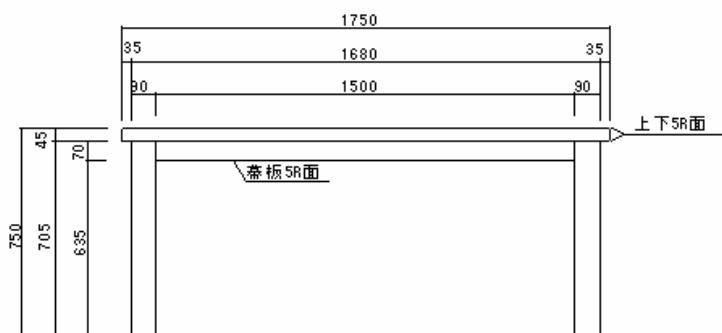
ダイニングテーブル S=1/15

仕様 天板：桧板材 脚：桧板材
無塗装

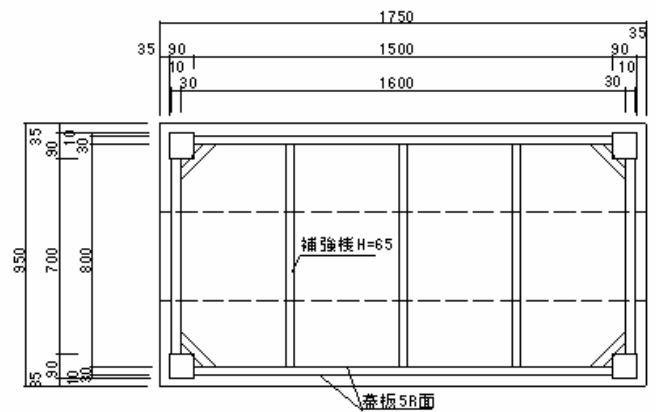
平面図



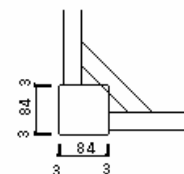
長辺正面図



脚部平面図



角足拡大図



(株)マルダイ 家具部
平成22年4月16日

小さなお子さんがいるとのことで面形状に角R部を細かく付けております。

今度は、脚で 90 * 90 ですが、節は仕方ないとしても割れについては全く無しはちょっと困難です。多少の小さい、細い割れは埋め木するなど、出来るだけ、化粧面から避けるように配置しました。(今回も割れの無い太角材から削って仕上げても割れが多少出てしまいました。)

脚角足



脚角足



*** 矢印は細い割れ筋です。

幕板、反り防止材は間柱より木取りました。節はありますが、問題なし。





幕板、反り防止材取り付け済み。



四隅角足取り付け。



この炉の中にダイニング
テーブルの足を入れて
セットし、掘座卓のよう
になるとのことです。
納品する私どもははじめて
聞いた情況にちょっと驚き
ましたが、寸法通り製作して
いれば縦横 20mmは余裕ある
とのことで一安心。



これで予定通り収まりました。
テーブルはその場でもう一度
角足をはずして、ガラス塗料
のグラノール艶消しを裏面脚
は2回、天板表は4回塗りを
施しました。
これで、多少の汚れ、輪染み
などにも効果あるものと思わ
れる。

この1台のテーブルにも原板探しから、木取り、角足探し、節処理、塗装まで色々なドラマがあります。このドラマの積み重ねが次の仕事にかえて来るものだと思います。

ちょうど、この納品の日はお子さんのお誕生日で祖父母さんも来られて、メモリアルなダイニングテーブルとなりました。

平成22年5月6日 (株)マルダイ 家具部 Da・Monde 鈴木